

粉末状増粘剤 ビスコトップ パウダー F

KaO

特徴

- 優れた流動性と材料分離抵抗性、水中不分離性を両立します
- 低水粉体比領域でも、過度に増粘し作業性を悪化させることなく、優れた流動性を発揮します
- 粉体材料へのプレミックスはもちろん、スラリーへの後添加でも継粉を形成せず効果的に作用します

性能比較表	●の数が多い程、性能が優れることを示します				
	流動性	作業性	耐ブリーディング性	材料分離抵抗性	強度発現
ビスコトップ パウダー F	● ● ●	● ● ●	● ●	● ● ●	● ●
一般的な 粉末増粘剤	●	● ●	● ●	● ● ●	● ●

モルタル試験例

<試験配合>

W/C	W	NC	S	減水剤
50%	350	700	700	1.05 (0.15%vs.C)

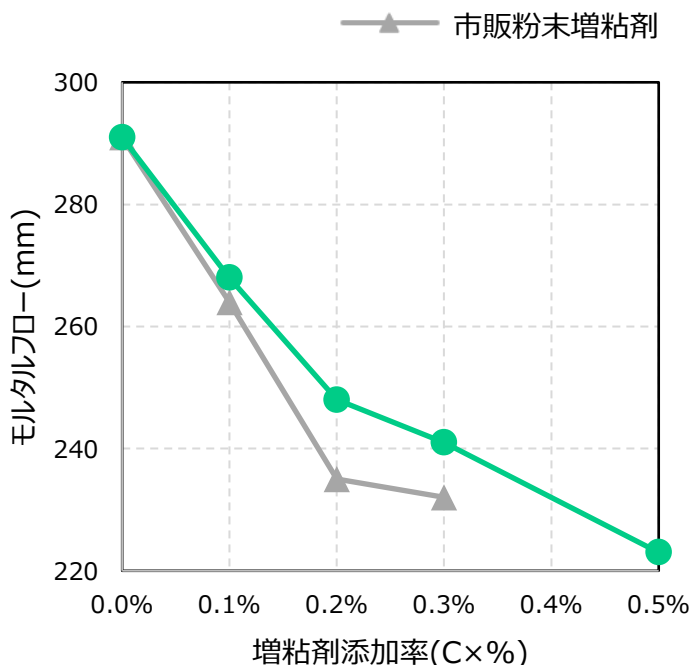
<材料>

W…水 和歌山市上水道水 (比重:1.00)
 NC…普通ポルトランドセメント (比重:3.16)
 S…細骨材 城陽産山砂 (比重:2.50)
 粉末状減水剤…マイテイ 21PN

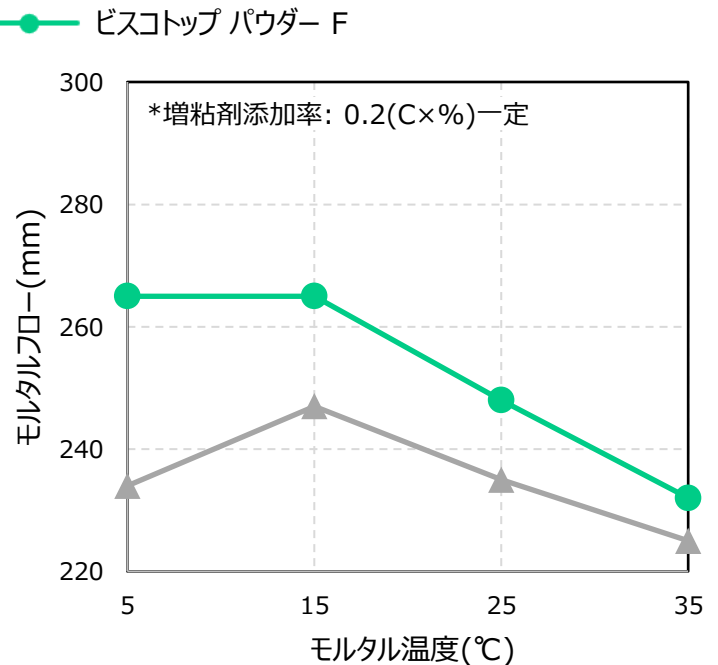
<調整条件>

粉末減水剤、粉末増粘剤を砂、セメントと混合したものを水に添加し、ホバート型ミキサーを用いて140rpmで2分間混練することによりモルタルを調整し、JIS R 5201記載のモルタルコーンを使用してモルタルフローを測定した。

<添加率とフローの関係>



<モルタル温度とフローの関係>

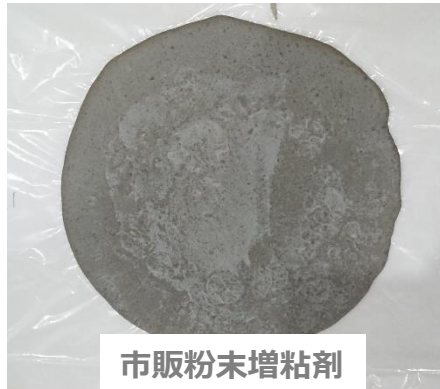


粉末状増粘剤 ビスコトップ パウダー F

KaO

硬化後の表面性状

増粘剤添加率を0.2(C×%)一定としたフロー試験後のモルタルを、25℃・60%RHで6時間硬化させた後表面状態を観察した。



市販粉末増粘剤



ビスコトップ パウダー F

素直な流動性発現により、分散剤の過添加によるブリージング、表面の粉浮きを抑制します。打ち継ぎ面の強度担保などに高い効果が期待されます。

モルタル試験例(低水粉体比)

<試験配合>

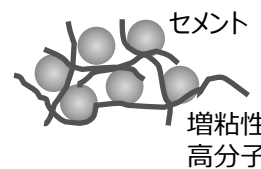
W/C	W	HC	S	減水剤
30%	210	700	700	1.75 (0.25%vs.C)

<材料>

W…水 和歌山市上水道水 (比重:1.00)
 HC…早強ポルトランドセメント (比重:3.14)
 S…細骨材 城陽産山砂 (比重:2.50)
 粉末状減水剤…マイテイ 21PN

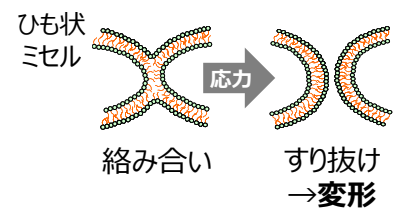
<メカニズム仮説>

一般的な粉末増粘剤

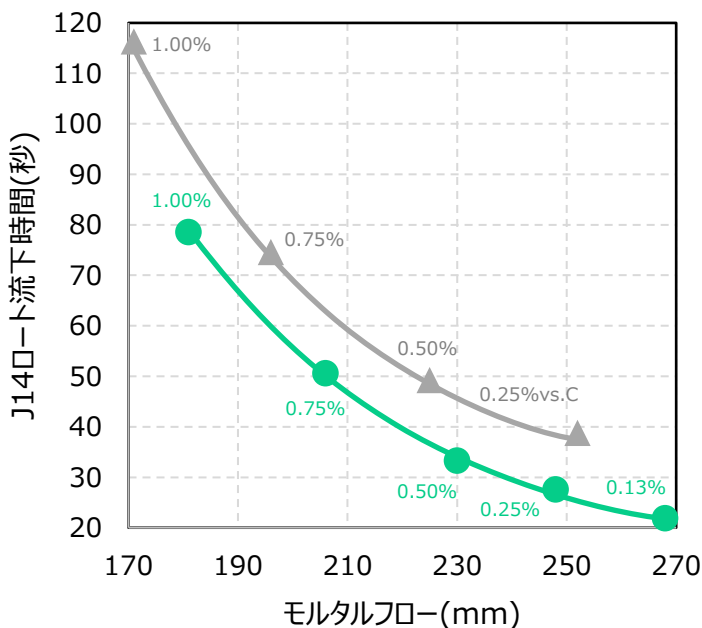


✓セメントにも作用
 セメント増→過度に増粘

ビスコトップ パウダー F



✓水を増粘
 →セメント比影響小



低水粉体比でも優れた充填性を発現します

ビスコトップパウダーは消泡剤を内添しておりますが、適用される製品にて別途消泡剤や界面活性剤を併用される場合は、配合量によっては増粘効果が低下する恐れがございます。お手数ではございますが、事前の試験によって、最適配合量を見極めてください。

記載事項は実験事実に基づくものですが、実際の現場結果を確実に保証するものではありません。お問い合わせは下記までお願いいたします。

花王株式会社 ケミカル事業部門 エコインフラ
 すみだ事業場 〒131-8501 東京都墨田区文花2-1-3
 大阪事業場 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-1
 HP: <https://chemical.kao.com/jp/>

Mail: chemical_eif@kao.com